

歯科心身症治療は理解から 器質変化や精神要因の鑑別が重要、と大村氏

7月度生涯研修講座



歯科における心身症の鑑別法について耳を傾ける参加者＝7月21日、M&Dホール

臨床・学術部は「歯科と精神科の接点」をテーマに生涯研修講座を7月21日、M&Dホールで開いた。103人が参加した。大村進氏（横浜市立大学附属市民総合医療センター）が講師を務めた。

厚労省が発表した5大疾病では精神疾患は323万人で、未受診の潜在患者の多さを想像すると

圧倒的多数で1位と考えられる。一方、歯学教育は治療学が中心で不可解な訴えに対する診断が苦手である。まずは心身症の概念を理解することが必要である。

テレビCMで健康関連の広告が氾濫している。国民が健康不安を抱かえている事の裏返しである。国民総不安障害、心身症ともいえる、「歯科における心身症は、心理的社会的因子が密接に関連し、口腔領域に器質的ないし機能的障害の認められる病態をいう。患者が

不可解な訴えをしたら心身症を疑えともいえる。器質的变化を伴う病状と精神的要因による病状の鑑別が重要である。歯科心身症で最も多いのは舌痛症で5割近くを占める、舌痛症を訴えた場合、最悪の「舌癌」を排除するのが肝要である。

「簡単なマニュアル、鑑別診断法、治療法はない。すべての患者は心理的・社会的要因を持っていて、そのことを理解しようという患者の話をよく聞くことが大切である」と話した。（東住吉区・森啓）

レジン系材料で講習

三島地区

三島地区は、「保存修復における接着性レジン系材料」をテーマに講習会を7月13日、高槻市立生涯学習センターで開いた。講師は、宮地秀彦氏（大阪歯科大学歯科保存学講座助教）が務め、会員ら16人が参加した。宮地氏は、コンポジットレジン



バキュームテクニックを実習する参加者
＝7月20日、港区

臨床・学術部

バキューム実習開く

患者の立場で操作学ぶ

7月20日、臨床・学術部は、スタッフ向けの実習アシスタントワーク基礎編「バキュームテクニック」を、とみもと歯科

で開いた。冨本昌之氏（港区開業）とサポーターする衛生士4人が指導し、17人が受講した。冨本氏は、バキューム

実習の目的について「治療をサポーターする助手の皆さんには患者さんの全体的なことをよく見て、患部の治療に専念している先生と、患者さんの橋渡し役になり、明日からの診療に活かしてほしい」と述べた。その後、バキュームテクニックを紹介したDVDを使って学習し、グループに分かれ実習した。

レベルにあわせての実習では、各班とも患者役、ドクター役、アシス

タント役に分かれ、診療所での流れを体験した。患者を迎え入れるところから、立ち方、バキュームの持ち方をはじめ、各部位ごとのバキュームの当て方について、時には手をとり詳細にアドバイスをした。また、それぞれの講師は、一人ひとりの課題や、日頃の診療にあたっての問題に丁寧に答え



レジン系材料の商品の特徴について語る宮地秀彦氏＝7月13日、高槻市内

参加者からは、「普段のアシスタントで疑問に思っていることを聞いて大変勉強になった」「患者の立場になった時、どの部分か痛い、しんどいなどよくわかった」など多くの声が上がった。

ではないと指摘。その上で、マイクロフィラー、サブマイクロフィラー、ナノフィラー、セミアイフリット型など今なお進化を続けていることや、象牙質接着を高めるためのボンディングやプライマーの変遷、実際の商品の歴史と特徴なども説明した。

また海外のドクターによる素晴らしいレジン修復の実例を動画で紹介した。

参加者からの質問に対して、ユニゾール系の材料がレジンの重合を阻害することや、ガラスアイオンマー系の充填材との使い分けなどについて述べた。

光重合の不均一さや重合深度の問題では、酸素

により表面は重合が阻害され、0.5～1.5mmの深度で最大硬化することを紹介。光照射器の照射距離はなるべく近くなければならないが、発熱の問題があるので数回に分けて照射するなどの実践的なテクニックも解説した。

大阪反核平和医療人の会講演会のご案内

北東アジア非核化の展望を考える 北朝鮮の核計画をめぐって

日時 8月24日(土) 午後3時～

会場 M&Dホール

講師 李英和氏
(関西大学経済学部教授)

参加費 無料

申込 協会事務局まで

協会の共済制度をお勧めします！

休業保障

受付期間
9月20日まで

募集再開！

安心して療養できます

- ①最長730日の長期保障！
- ②掛金が満期まで変わりません！
- ③掛け捨てではありません！
- ④自宅療養、代診をおいても給付！
- ⑤傷病給付金は非課税！
- ⑥所得補償保険との重複受給OK！

【加入日】 2013年12月1日
【加入申込資格】
①加入日現在健康で1つの主たる医療機関等で週4日以上かつ週16日時間以上で業務に従事している。
②59歳(昭和29年6月2日以降生まれ)までの保険医協会会員で、約款に同意できる保険医。
※加入(増口)申込みできる方は、上の要件を全て満たす方です。

□給付内容 (1口につき)

給付金の種類	受給資格	給付内容・日数など
傷病休業給付金 入院給付金	【疾病】2014年3月1日以降に発病した病気を原因に休業したとき、【傷害】2013年12月1日以降の傷害を原因に休業したとき	疾病も傷害も6日以上連続して休業した場合、6日目から1日につき自宅6,000円、入院2,000円を加算【通算給付日数500日まで】
長期療養給付金	傷病給付金の限度日数(500日)を超えて、引き続き連続して休業したとき	1日につき自宅3,000円、入院6,000円【連続1回限り230日限度】
弔慰給付金	傷病により死亡したとき	500,000円 (+ 脱退給付金)
高度障害給付金	傷病により高度障害状態になったとき	500,000円 (+ 脱退給付金)
脱退給付金	加入3年以上経過した後、脱退したとき	別に定める脱退給付金表により給付金額を確定

※資料請求・お問合せは、協会共済部(☎06-6568-7731)まで。